

第202期 営業の中間ご報告

ミニディスクロージャー誌
2021年4月1日から2021年9月30日まで



当行の概要(単体)

名 称	株式会社 福井銀行 (The Fukui Bank, Ltd.)
所 在 地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号
電 話	0776-24-2030(代表)
ホームページ	https://www.fukuibank.co.jp/
設 立 年 月 日	1899年12月19日
資 本 金	179億65百万円
従 業 員 数	1,365名(出向者、嘱託および臨時職員含めず)

(2021年9月30日現在)

店 舗	有人店舗数／77か店 店舗内店舗数／18か店 その他／3か店 合計／98か店 ※店舗内店舗:他の当行店舗内に併設移転した店舗 ※その他:振込専用支店、ジュラチック王国支店(インターネット支店)、小浜支店名田庄営業室(毎週水曜日(休祝日除く)のみ営業) 店舗外自動機設備／121か所 (ATM運営会社・セブン銀行・ローソン銀行との共同設置を除く)	
主 要 勘 定	預金等残高	2兆8,563億円
	貸出金残高	1兆8,129億円
	有価証券残高	7,070億円
株 式 の 状 況	発行済株式総数	24,144千株
	株主数	8,142名

発行 2021年11月

株式会社 福井銀行
経営企画グループブランド戦略チーム



地域とともに、 お客さまとともに、 時代の変化に 合わせて成長する



取締役 兼 代表執行役頭取
林 正博

福井を基盤とする金融グループ 「Fプロジェクト」が始動

2021年10月1日付で福邦銀行が実施した普通株式による第三者割当増資を福井銀行が引受け、新たなグループ体制がスタートしました。2019年に福邦銀行と包括提携の検討を開始して以来、約2年をかけて様々な取組みを進めてきたこともあり、大きな混乱もなく新たなグループ体制が順調にスタートを切れたことに安堵しています。しかしながら、両行の連携の目的は地元福井

の持続的発展に貢献することです。福邦銀行との新たなグループ体制での取組みの真価が問われるのはこれからであり、地域金融機関として、責任の重さに身が引き締まる思いです。「福井銀行」「福邦銀行」の2つのブランドを維持し、これまで築き上げてきたそれぞれの強みを活かして地域経済の発展とお客さまサービスの一層の向上に努めてまいります。一方で、店舗・ATM戦略の連携による投資抑制、本部機能の統合によるコストの削減と業務運営の効率化により、シナジー効果の最大化・最速化の早期実現を図ります。

「観光地域商社」「人材派遣・人材紹介会社」 の運営による地域経済の活性化

今後、両行協働での取組みとして、「観光地域商社」および「人材派遣・人材紹介会社」の運営を行います。「観光地域商社」では、北陸新幹線の敦賀延伸や中部縦貫自動車道の全線開通を控え、その効果を最大限に発揮させるため、外国人旅行者向けの観光商品の開発や福井県の魅力の発信等により、観光産業の発展と地域経済の活性化を図ります。また、「人材派遣・人材紹介会社」では、福井県内企業の人材ニーズに対して、専門人材の紹介、両行OB・OGの派遣・紹介を行うことにより、お客さまのさらなる成長・発展に貢献してまいります。

コンサルティング機能の強化に向けた 本部組織の改編

2021年10月に福井銀行の本部組織の改編を行いました。福井県内の人口減少と少子高齢化の進展が想定されるなか、地域経済の持続的な発展のためには質の高い課題解決策を提供することが必須であり、2018年4月にコンサルティング業務を専門とする組織を立ち上げて以来、継続的に体制の強化を図ってきました。その成果もあってコンサルティングのレベルは向上し、活動量も着実に増加していますが、お取引先企業が抱える経営課題が多様化、複雑化しているなか、限られた経営資源で最大限の効果を発揮するため、グループ内に分散していた法人のお客さまへのコンサルティング機能をグループ会社である「福井キャピタル&コンサルティング」に集約する一方で、個人のお客さま向けコンサルティングの機能はプロジェクトチームを新設し、これまでの取組みをさらに強化いたします。同時に、グループ間の垣根を超えた戦略的な人員配置を行い、銀行本体

で活躍する中堅・若手を中心にグループ内での人財交流を行い、グループ全体の活性化および人財育成を図ります。

地域でのサステナビリティへの取組みを 先導し持続的な発展に貢献

持続可能な社会の実現に向け、気候変動などの環境問題など地域社会を取り巻く様々な課題解決に誠実かつ公正に取り組み、社会価値・経済価値・企業価値の向上を実現するため、2021年9月、「福井銀行グループ サステナビリティ基本方針」を策定しました。サステナビリティへの取組みは、企業として重要な経営課題となっております。当行グループは、より実効性の高い取組みに繋げていくため「サステナビリティ委員会」を設置し、能動的に取り組んでいきます。

また、サステナビリティへの取組みは当行グループのみならず、お取引先企業にも有益であると考え、地元企業へ広げる取組みを行っています。当行はこれまでも、お客さまの成長支援・改善支援のため、お客さまの事業内容や経営課題を理解する「事業性理解」を行ってきましたが、サステナビリティの視点を加えることで、お客さまにとってより企業価値・経済価値の向上につながる経営課題を浮き彫りにすることができます。お客さまと一体となって社会課題を解決していくことで、お客さまの持続的な発展に寄与し、結果として当行の企業理念である「地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」につながると考えています。

これからも、より一層のご愛顧ご支援を心よりお願い申し上げます。

目指すのは 「地域産業の育成・発展と 地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」

「地域産業の助成こそ使命」という創立当時の想いは、
企業理念となって120年以上たった現在も変わらず受け継がれています。

Mission

存在意義

地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現

福井銀行は、1899年「地域産業の助成こそ使命」という想いから、当時盛んになり始めた繊維産業を育成するために地主の蓄積した資本を結集して設立。地元を愛し、その発展に尽くすことを第一義とする無私の精神は、創立当初から福井銀行のDNAに深く刻まれ、120年以上たった現在も変わらず「企業理念」にしっかりと受け継がれています。

Commitment

経営のコミットメント

トライアングル・バランスの実現

福井銀行グループは豊かな地域社会の実現のために
「職員の満足(働きがい)」「お客さま(地域)のご満足」「株主の方々(投資家のみなさま)のご満足」
をバランスよく高める経営を実現します。

Action

役職員の日々の行動

誠実 × 情熱 × 行動

「誠実」…相手を大切に思い、
「情熱」…強い信念を持ち、最後まで諦めず、
「行動」…実際の働きで示す

今日の誓^{※1}

- ― 自己を反省して人の悪口を言はざること
- ― 四恩^{※2}を感謝して吾職務に精励すること

右 今日一日の務めとして実行を誓ひます

※1 「今日の誓」は創立者・市橋保治郎が禅の思想に基づき提唱したもので、福井銀行職員は、この「今日の誓」を行動のバックボーンとして業務に精励しております。
※2 四恩・・・先祖の恩、国家の恩、社会の恩、神仏の恩

短期経営計画

「企業理念」の実現に向けて(第2章)

地域金融機関を取り巻く環境は、様々な要因により先行きが不透明かつ厳しい状況が続いています。一方で、福井県では北陸新幹線の県内延伸などの交通網の整備により、ビジネス環境が大きく変化していくが見込まれます。このような激動の環境下において、短期間で組織力を向上させるべく、期間1年間の短期経営計画を策定しました。下記3つのテーマのもと、福井県の持続的発展に貢献していくとともに、当行グループの経営基盤の確保と強い経営体制の構築を実現してまいります。

短期経営計画(概要)

タイトル	「企業理念」の実現に向けて(第2章)	
期 間	2021年4月～2022年3月	
位置付け	地域とともに、お客さまとともに、次の100年の礎をつくる期間	
コンセプト	変わらない姿勢	変わり続ける組織
テーマ	コンサルティング機能の発揮	ワークプロセスの変革
	人づくり革命	

変わらない姿勢、変わり続ける組織

当行グループは2015年4月より一貫して行っている「事業性理解」「お客さま理解」に基づく活動を今後も継続し、
「変わらない姿勢」でお客さまをご支援することをお約束します。

また、急激な環境変化に対応するため、組織体制および組織風土を変革し、
「変わり続ける組織」を実践していくことで、持続可能な経営を実現することもお約束します。



Fプロジェクト

福井の未来を創造する、 新しい金融グループが誕生しました！

福井銀行と福邦銀行は、共に長きにわたり、福井県の活性化をその使命・役割とする金融機関として、地域のみなさまに支えられて活動してきました。

両行グループは相互の強みを活かし、1つの金融グループである「Fプロジェクト」として、地域のお客さまの持続的な成長と発展に向け、これまで以上に精進してまいります。



イメージカラー／ターコイズブルー

福井銀行の「青」と福邦銀行の「緑」の融合「ターコイズブルー」には、「創造性」「自由」「探究心」という意味があり、何かを表現することに長け、それを伝える柔軟な表現力をもち、束縛のない自由な生き方の象徴とされています。Fプロジェクトでは、「福井県」「福井銀行」「福邦銀行」の歴史と伝統(今)を大切にしながら、福井の未来を「創造」し、持続的発展のための方策を探究していきます。

1 「Fプロジェクト」これまでの歩み

- 2019年 9月 包括提携の検討開始
- 2020年 3月 地域経済の発展に向けた包括提携(Fプロジェクト)の締結
- 2021年 1月 資本提携に係る基本合意の締結
Fプロジェクト推進委員会の創設
- 2021年 5月 資本提携に係る最終契約の締結
- 2021年10月 福邦銀行が実施する普通株式による第三者割当増資を福井銀行が引受け

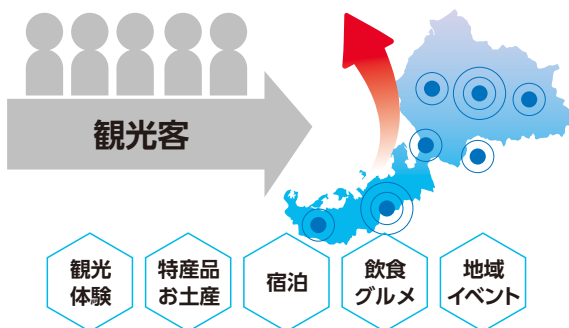
2 今後のシナジー創出の早期実現と効果の最大化に向けて

お客さま・地域に対して

北陸新幹線敦賀延伸を見据えたサービスの高度化・多様化によるGRP(地域内総生産)増加への貢献

●観光地域商社の共同運営

インバウンド向け観光商品の開発ならびに販売などを行う観光地域商社の共同運営などを通じて、交流人口をふやし地域活性化に貢献します。



●地域内M&A・ビジネスマッチングの協働

地域内のM&Aを主導し、事業承継支援を強化するとともに、新たな販売先や仕入先など、お客さまの課題を解決できるビジネスパートナーを相互に紹介します。

●人材派遣・人材紹介会社の共同運営

外部の人材紹介会社との連携による専門人材の紹介や、両行OB・OGの派遣あるいは紹介を共同運営し、両行の取引先企業の成長・発展に貢献します。



●まちづくりの協働

自治体との連携や福井駅を中心とした北陸新幹線停車駅の駅前再開発事業へ参画します。

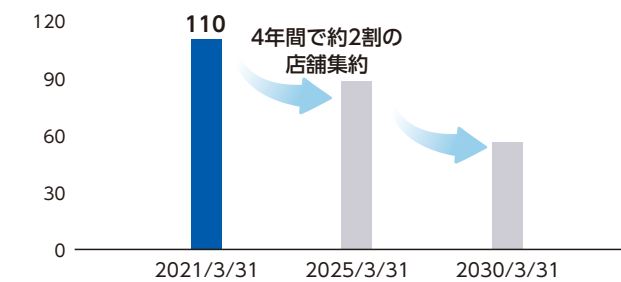
効果的・効率的な業務運営に向けて

コスト削減と経営資源再分配による地域を支えるための経営体質強化

●店舗戦略の連携強化

営業エリア内における店舗の重複解消による店舗ネットワークの最適化を図るため店舗再編を進めるとともに、人員再配置により営業・コンサルティング担当者を拡充し、課題解決力を強化します。

拠点数(両行合算)

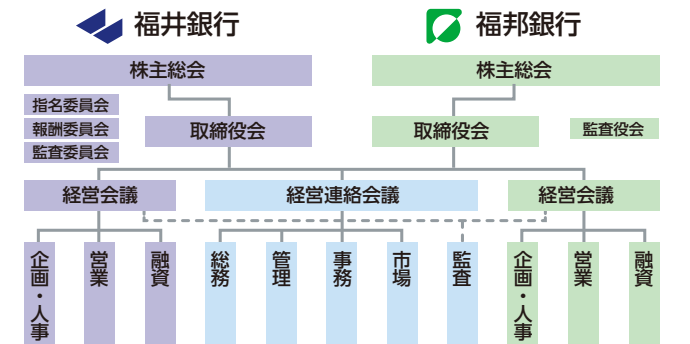


●共同ATMの拡充

店舗内外での同一拠点においてATM台数見直しとともに共同ATMの設置を進め、利便性の維持とコストの削減を図ります。

●本部機能の統合

営業部門・融資部門・一部企画部門以外の本部機能・人員を同一拠点に集約して、事務フロー・システム・ネットワークなどの共通化を図りながら効率的な業務運営を行います。



人の融合・未来に向けて

地域と両行の未来を創造できる人財の創出

●Fデザインの推進

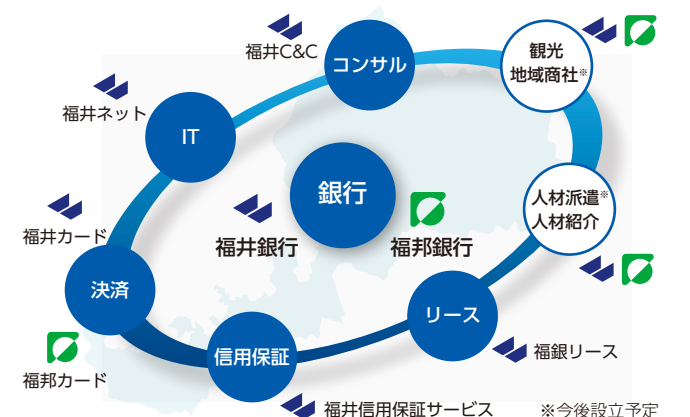
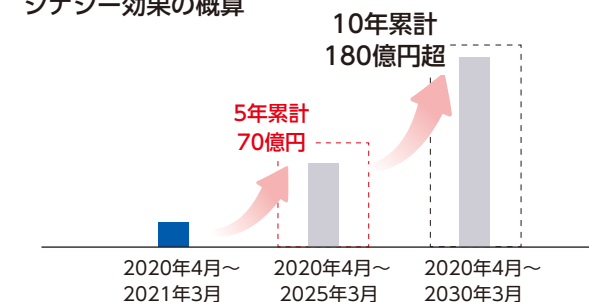
地域と両行の未来の創造に向けて、両行職員の一体感をデザインしていく取組み「Fデザイン」を推進します。複数テーマの活動を通して心の融合と相互の成長を図り、地域と両行の未来を創造し、両行の理念を実現できる人財を創出します。



3 グループ経営とシナジー効果の概算

福井銀行と福邦銀行は、1つのグループとして、グループ会社の機能を活用し、総合金融サービスを提供することにより、地域および両行グループのお客さまの発展に貢献してまいります。

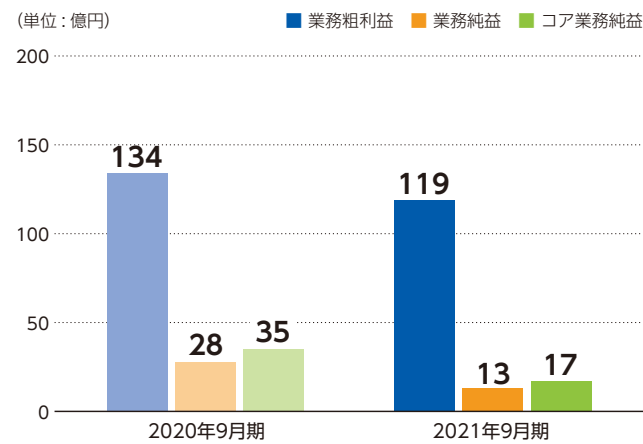
シナジー効果の概算



2021年9月期の決算についてお知らせします。

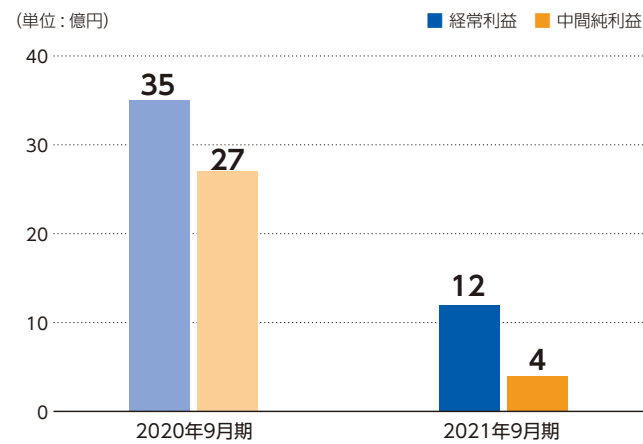
■ 主要損益の状況

業務粗利益・業務純益・コア業務純益〈単体〉

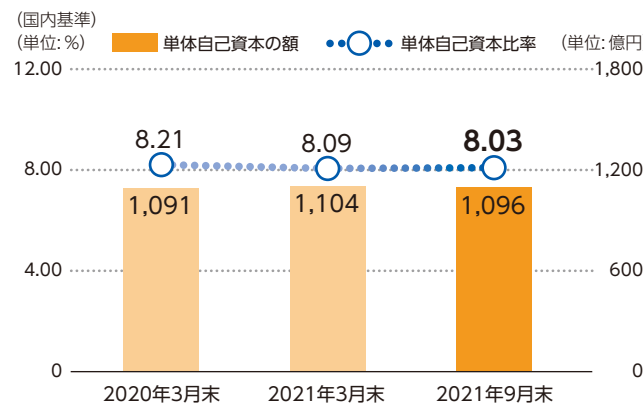


役務取引等利益は増加したものの、資金利益の減少により、業務粗利益は前年同期比減少となり、業務純益も前年同期比減少となりました。銀行本来の利益を示すコア業務純益についても、上記を主因に前年同期比減少となりました。これらに加えて、株式等償却額が増加したことから、経常利益・中間純利益ともに前年同期比減益となりました。

経常利益・中間純利益〈単体〉

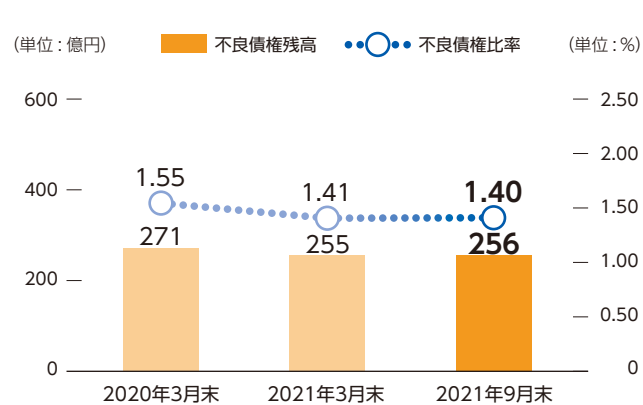


■ 自己資本比率〈単体〉



2021年9月末は自己資本の額が前期末比8億円減少したことにより、自己資本比率が低下し、単体自己資本比率は8.03%となりました。

■ 不良債権



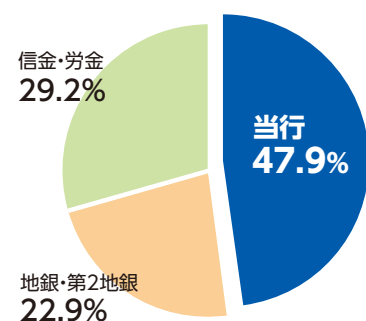
2021年9月末の不良債権残高は、前年度末比1億円増加し、256億円となりました。また、総与信に占める割合は、前年度末比0.01ポイント改善して1.40%となりました。

■ 預金・貸出金シェア

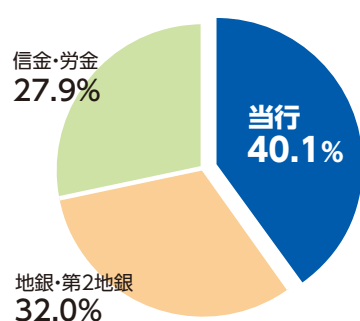
(2021年9月末現在)

お客さまからの高い信頼に支えられて、福井県内において、福井銀行は、預金・貸出金ともにトップシェアを保っております。引き続き、地域のみなさまから信頼される銀行を目指してまいります。

福井県内の預金シェア

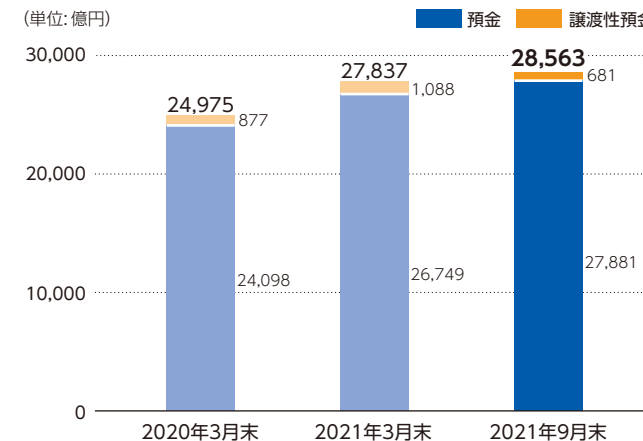


福井県内の貸出金シェア



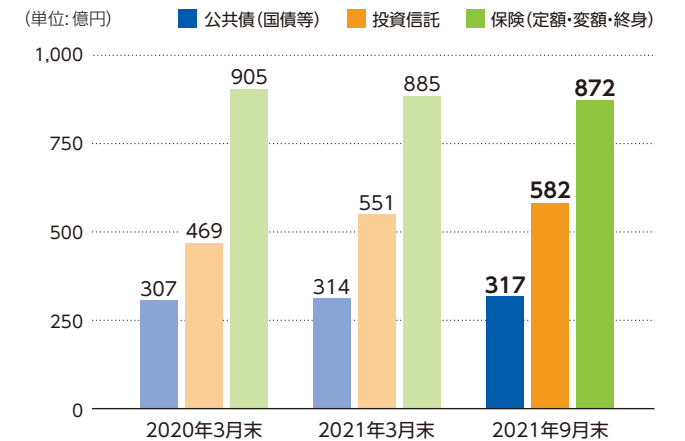
■ 預金等残高・預り資産残高

預金等



譲渡性預金を含む預金等は、法人・個人・公金が増加したことから、全体で期中726億円増加し期末残高は2兆8,563億円となりました。

預り資産

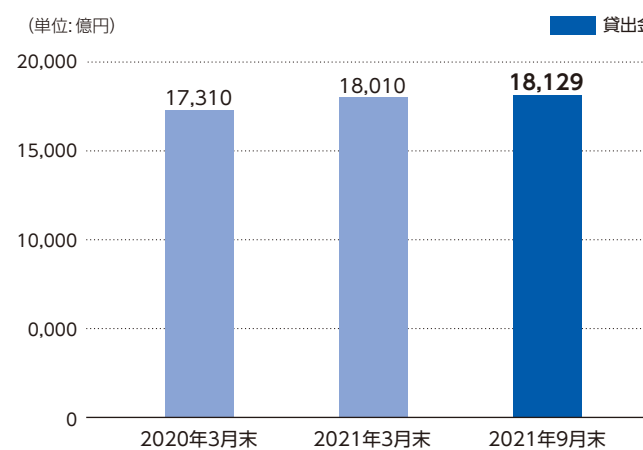


公共債(国債等)は、期中3億円増加し期末残高は317億円となりました。投資信託は期中31億円増加し期末残高は582億円となりました。保険(定額・変額・終身・養老)は、期中13億円減少し期末残高は872億円となりました。

公共債(国債等): 額面ベース 投資信託: 純資産残高ベース(口数×基準価額÷1万口)
保険(定額・変額・終身): 払込保険料の合計額

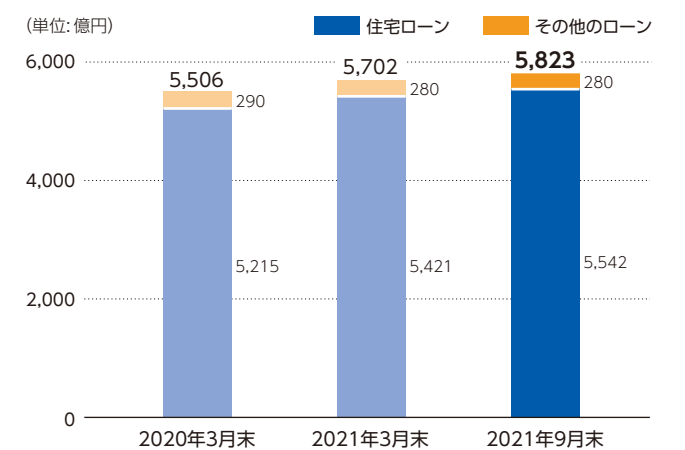
■ 貸出金残高・消費者ローン残高

貸出金



貸出金は、消費者ローンを含む中小企業等向け貸出が増加したことから、期中119億円増加し期末残高は1兆8,129億円となりました。

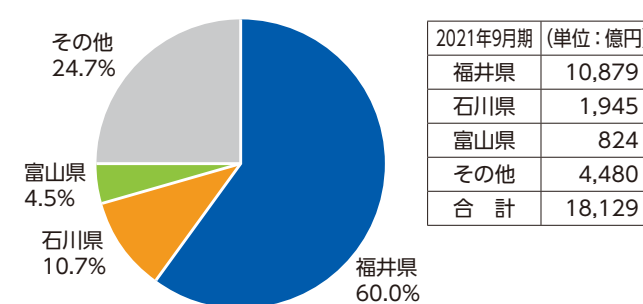
消費者ローン



消費者ローンは、期中121億円増加して期末残高は5,823億円となりました。うち住宅ローンは、期中121億円増加して期末残高は5,542億円となりました。

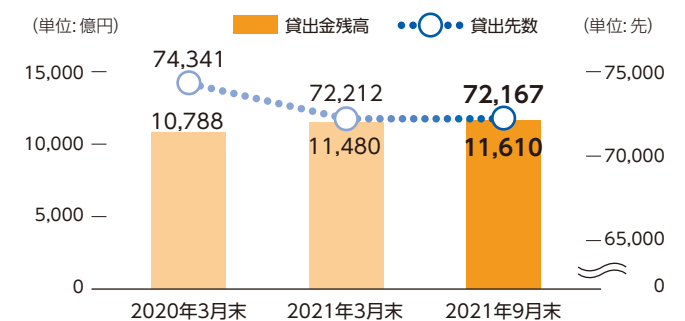
■ 貸出金の地域別内訳・中小企業等向け貸出金

貸出金残高の地域別内訳



北陸3県内での貸出金は1兆3,648億円、(うち福井県内1兆879億円)であり、貸出金全体の75.2%(うち福井県内60.0%)となっております。

中小企業等向け貸出金



中小企業等向け貸出金残高は期中130億円増加し1兆1,610億円となり、総貸出金残高の64.0%となりました。また、貸出先は、期中45先減少し72,167先となりました。

サステナビリティへの取り組み

地域社会の持続的発展は当行の企業理念そのものです。

地域・お客さまと一体となって、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



「福井銀行グループ サステナビリティ基本方針」の策定

福井銀行グループは、持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動などの環境問題など地域社会を取り巻く様々な課題解決に誠実かつ公正に取り組み、社会価値・経済価値・企業価値の向上を目指し、「福井銀行グループ サステナビリティ基本方針」を策定いたしました。

<4つの方針>

1. 重要課題(マテリアリティ)の特定と事業活動を通じた地域社会の課題解決
2. SDGsやESGの視点を踏まえたビジネスモデルの確立
3. 対話や正確な情報開示による様々なステークホルダーとの信頼関係の構築
4. サステナビリティに対する職員への教育の実施



気候変動への対応(TCFD提言)への取り組み

気候変動に起因する社会変化への対応が国際的にも重要視されるなか、当行は「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言に賛同いたしました。グループ一体となって気候変動に関する対応強化を図るとともに、TCFD提言を踏まえた気候関連のリスク・機会に関する情報開示を充実してまいります。



- ・主要国の中央銀行や金融監督当局などが参加する金融安定理事会(FSB)により設立されたタスクフォース
- ・投資家への適切な情報提供を目的に、気候関連財務情報の開示を企業に促している



サステナビリティ委員会の設置

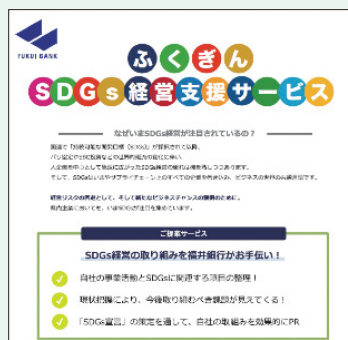
福井銀行グループのサステナビリティに関する重要課題や取組方針などを継続的に議論し、実効性を高めていくための検討組織として、代表執行役頭取を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置しております。



お客さまと一体となった社会課題の解決

2021年6月、SDGs経営に向けて取組みを始める企業さまを支援する「<ふくぎん>SDGs経営支援サービス」の取扱いを開始いたしました。

本サービスによりSDGsへの取組みを支援し、企業さまのビジネスチャンスの拡大や人材確保にも繋げていくことで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



株式についてのご案内

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会

6月中

基準日

定時株主総会	3月31日
剰余金の配当	期末 3月31日 中間 9月30日

なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座振込みをご指定くださいますと早くて便利です。

株式事務取扱場所、取次所

- (1) 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- (2) 事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

公告方法

電子公告の方法により、当行ホームページ(<https://www.fukuibank.co.jp/>)に掲載いたします。

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページアドレス
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
(上記URLの「特別口座に関するお手続き(上場会社)」よりお入りください。)

証券保管振替制度をご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。

当行株式についてのお問い合わせ先

☎0120-094-777

受付時間：土・日・祝日等を除く 平日9:00～17:00

郵便物送付先

相続手続以外 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
相続手続 〒540-8694 大阪東郵便局私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株主優待制度

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された当行株式300株以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

株主優待制度の内容

地元福井県の特産品または社会貢献活動に対する寄付から保有株式数に応じて選択していただきます。

保有株式数	優待品または寄付
300株以上1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上	5,000円相当

※優待品の例



※寄付について
2021年3月31日基準日の寄付につきましては、82名の株主さまにご賛同いただき、公益財団法人 福井銀行教育福祉財団に370,000円の寄付を行いました。

単元未満株式の買増制度

福井銀行では、単元未満株式の買増請求のお取扱いをしております。

ご所有の単元未満株式(100株未満の株式)を、買増請求により、単元株式(100株)にすることができます。

〈例〉

現在ご所有株式		買増請求により買増		単元株式
80株	+	20株	=	100株

〈必要書類等〉

- 単元未満株式買増請求書・取次依頼書
- 買増概算金

単元未満株式の買取制度

ご所有の単元未満株式(100株未満の株式)を、買取請求により、当行が買取いたします。

〈必要書類等〉

- 単元未満株式買取請求書・取次依頼書

単元未満株式の買増および買取制度の詳細については、お取引の証券会社または株主名簿管理人三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせ願います。